学校教育目標　「見賢思斉」の精神で たくましく未来を切り拓く 児童生徒の育成

しせいかん smile

思斉館中学部だより
令和８年１０月３０日
校長　　家永　裕行

一瞬を一生の輝きへ（文化発表会・合唱コンクール）



１０月２３日、文化発表会と合唱コンクールを開催しました。文化発表会のテーマは「Spark the future ～一瞬を一生の輝きへ～」。午前と午後に分かれ、生徒がこれまでの学習や活動の成果を発表し、会場となった体育館では演奏や学年劇、合唱、作品展示などが行われました。

開会にあたっては、生徒会によるオープニングセレモニーが行われました。文化発表会をみんなで楽しく過ごすためのマナーやルールを、ユーモアを交えながら分かりやすく紹介しました。



プログラムの最初を飾ったのは吹奏楽部の演奏です。９年生にとっては後輩たちと演奏する最後のステージとなりました。「好きすぎて滅」を始めとする生徒に人気の楽曲が披露され、会場は大きな拍手に包まれました。

会場後方には、生徒たちの作品も数多く展示されました。９年生のくるくるアート「道」、８年生のモザイクアート・職場体験レポート、７年生の「ようこそ SDGs の世界へ ～私たちにできること～」・ペットボトルアートなど、それぞれの学年の学びや工夫が伝わる作品が並びました。また、各教科やわかば学級の作品も見応えがあり、生徒たちのこれまでの取組の成果を見ることができました。

学年劇では、７年生が「二番目の悪者」、８年生が「＃（ハッシュタグ）働くとは」、９年生が「グッド バイ マイ…」を発表しました。劇は演技だけでなく、小道具や背景制作、照明や音響など多くの役割によって支えられています。事前の準備の様子を見ても、それぞれの持ち場で熱心に取り組む姿が見られました。

７年生の「二番目の悪者」では、「嘘は巧妙にやって来る。真実は自分から動かないと見つけられない」という台詞が印象に残りました。情報があふれる時代だからこそ、自分で確かめることの大切さを改めて考えさせられました。８年生の「＃働くとは」では、職場体験を通して感じたことや学んだことが表現されており、働くことの意義について考える内容となっていました。９年生の「グッド バイ マイ…」では、登場人物の葛藤を通して生き方が問いかけられていました。未来は誰かから与えられるものではなく、自ら切り開いていくものであることを考える機会になったのではないかと思います。





写真左から７年生「二番目の悪者」、８年生「＃（ハッシュタグ）働くとは」、９年生「グッド バイ マイ…」

午後からは合唱コンクールを行いました。７年１組は「夢を追いかけて」、７年２組は「あさがお」、８年１組は「COSMOS」、８年２組は「HEIWA の鐘」、９年１組は「心の鐘」、９年２組は「群青」を披露しました。７年生はフレッシュに、８年生は美しい響きで、９年生は

声量豊かに、それぞれの学年らしさを発揮しました。どの学級からもこれまでの努力が伝わってくる合唱でした。結果は、金賞９年２組、銀賞９年１組、銅賞８年１組、ハーモニー賞８年２組、パフォーマンス賞７年１組、メッセージ賞７年２組でしたが、講評でも話したように、どの学級にも金賞を贈りたいと思える合唱でした。



写真左から９年１組「心の瞳」、９年２組「群青」

今回の文化発表会・合唱コンクールには、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様や職場体験でお世話になった事業所の方々にもご来場いただきました。思斉館が多くの方々に支えられていることを改めて実感した一日となりました。ご来場いただいた皆様に心より感謝申し上げます。生徒には、今回の文化発表会や合唱コンクールで学んだことを今後の生活に生かしてほしいと思います。



写真左から、**①７年生展示作品「ようこそ SDGs の世界へ ～私たちにできること～」** ペットボトルキャップをしおりやコースターに変身させた作品や、SDGsクイズを展示しました。**②８年生展示作品「つながる」** 職場体験での学びをもとにモザイクアート（地図）を制作し、職場体験レポートを配置しました。**③９年生展示作品「くるくるアート『道』」** 細長く切った色画用紙を丸めて貼り合わせ、夢に向かって歩む「道」を表現しました。**④令和８年度しおりコンクール作品** 応募された３１作品を展示しました。**⑤美術作品（抽象形デザイン）** 美術の授業で制作した抽象形デザインを展示しました。**⑥閉会後の片付けの様子** 文化発表会・合唱コンクールの終了後、協力しながら片付けに取り組む生徒です。

薬物乱用防止教育

１０月２７日、佐賀県少年サポートセンターから講師をお招きし、薬物乱用防止教室を実施しました。

薬物の危険性を正しく理解し、誘われても断る勇気や自分自身を大切にする心を育てることを目的とした学習です。講師の先生は生徒に問いかけながら話を進められ、生徒は真剣に耳を傾けていました。薬物乱用の危険性について理解を深め、自分の身を守るために大切なことを学ぶ機会となりました。

（生徒感想）

◇知り合いや友達に誘われても、ハッキリ、キッパリ断れるようになりたいと思いました。自分の体は自分で守れるようになりたいなと改めて考えることができました。（７年生）

◇１回やってみようという軽い気持ちで薬物に手を出さないようにしようと思いました。薬物は１回してしまうと依存してしまって、自分だけでなく、家族にも影響が及んでしまうと分かりました。これから、もし誘われたら、断りにくい場でもきっぱりと断るようにしたいです。（８年生）

◇今日の薬物乱用防止教室のお話を聞いて、改めて薬物乱用をすることが危険で、ダメなことだと分かりました。また、薬物と闇バイトは関係があると分かりました。どちらも１度したら戻ることができないと分かりました。「断ることがカッコイイ」という言葉が心に残ったので、薬物や闇バイトに誘われても、はっきりと断って、取り返しのつかないことにならないようにこれから生活していきたいです。（９年生）